

2025年度 早稲田大学大学院 スポーツ科学研究科  
修士課程2年制 一般（春期）入試問題の訂正内容

【一般科目】

問題冊子:3ページ

設問番号 I、問題9,10

(誤)

【問題9】ピアシェフスキーよりは( 5 )を意味した。

【問題10】スポーツ科学の～( 6 )である。

(正)

【問題9】ピアシェフスキーよりは( 9 )を意味した。

【問題10】スポーツ科学の～( 10 )である。

以上

## 2025年度 修士課程入学試験（春期）

### 試験問題〔一般〕

早稲田大学大学院スポーツ科学研究科

---

問題を全て答えなさい。全受験生共通問題です。

マーク解答用紙に記載された方法に従って解答すること。それ以外の方法で解答した場合は採点されません。

---

## I.

各設問の空欄（ 1 ）から（ 10 ）に当てはまるものを、下記の語群から 1 つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

### 【問題 1】

1863 年 10 月 26 日、ロンドンで 11 のクラブと学校が会議を行い、（ 1 ）を結成した。この団体が作ったルールが、近代サッカーのルールの原点となった。

- ア. EFA イ. FA ウ. FIFA エ. FL

### 【問題 2】

ドーピングや故意のファウルのように、スポーツの逸脱の多くは（ 2 ）から起こる。

- ア. 過度同調 イ. 規範欠如 ウ. 社会的誘惑 エ. 非常識

### 【問題 3】

戦後しばらくの間、学校での武道教育が禁止される。武道が禁止されたのは、それが（ 3 ）の温床と考えられたからである。

- ア. 軍国主義 イ. 資本主義 ウ. 社会主義 エ. 民主主義

### 【問題 4】

「舞踊」とは、最初に（ 4 ）がその著書の中で使った言葉である。

- ア. 石井漠 イ. 島村抱月 ウ. 坪内逍遙 エ. 山田耕筰

### 【問題 5】

体育授業中の教師による相互作用行動は、学習者の学習成果と相関関係があることが明らかにされており、学習者が評価する体育授業では、「励まし」や「（ 5 ）フィードバック」などの相互作用行動が積極的に営まれる。

- ア. 肯定的 イ. 視覚的 ウ. 情緒的 エ. 否定的

【問題 6】

よい体育授業を実現するためには、授業計画の段階において、まず学習目標を明確に設定し、その目標を達成するための学習内容を選定する。その後、選定した学習内容を具現化するための（ 6 ）を行う。

- |              |            |          |
|--------------|------------|----------|
| ア. 学習カードの準備  | イ. 学習形態の検討 | ウ. 教材づくり |
| エ. ルーブリックの作成 |            |          |

【問題 7】

スポーツと教育の関係をめぐる多様な立場のうち、科学の成果を教科の内容として位置づける考え方を（ 7 ）といいます。

- |              |               |              |
|--------------|---------------|--------------|
| ア. 身体を通した教育  | イ. スポーツに関する教育 | ウ. スポーツによる教育 |
| エ. スポーツの中の教育 |               |              |

【問題 8】

日本の体育における人間形成の変遷に関して、脱産業社会下の体育において「めざすべき人間像」とは（ 8 ）であった。

- |               |                    |
|---------------|--------------------|
| ア. 軍国主義的人間の形成 | イ. 生涯スポーツを実行できる主体者 |
| ウ. 民主的社会の形成者  | エ. 民主的人間の形成        |

【問題 9】

ピアシェフスキイ提唱のスポーツ科学 Sportwissenschaft は（ 5 ）を意味した。

- |              |                    |
|--------------|--------------------|
| ア. スポーツ医学    | イ. スポーツの自然・人文・社会科学 |
| ウ. スポーツの社会科学 | エ. スポーツの人文・社会科学    |

【問題 10】

スポーツ科学の最初の形は古代ギリシアの（ 6 ）である。

- |             |             |               |               |
|-------------|-------------|---------------|---------------|
| ア. episteme | イ. gymnasia | ウ. gymnastics | エ. gymnastike |
|-------------|-------------|---------------|---------------|

## II.

各設問の空欄（ 11 ）から（ 20 ）にあてはまる最も適切なものを、下記の語群から 1 つずつ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

### 【問題 1】

スポーツ産業は、伝統的に①スポーツ用品産業、②（ 11 ）、③スポーツサービス・情報産業の 3 領域だったが、1980 年代からそれぞれの領域が重なりを見せ、複合領域が出現した。具体的には、①と③が重なった（ 12 ）、②と③が重なった（ 13 ）、そして①、②と③すべてが重なったハイブリッド産業が出現した。

- |                |                  |                  |
|----------------|------------------|------------------|
| ア. スポーツ製品産業    | イ. スポーツテック産業     | ウ. スポーツ施設・空間産業   |
| エ. スポーツ ICT 産業 | オ. スポーツ健康産業      | カ. 施設・空間マネジメント産業 |
| キ. スポーツ指導産業    | ク. スポーツファッショング産業 | ケ. スポーツ関連流通産業    |

### 【問題 2】

アメリカの 4 大プロスポーツといえば、MLB (野球)、（ 14 ）(アメリカンフットボール)、NBA (バスケットボール)、NHL (アイスホッケー) といわれるが、4 つのプロスポーツに共通するのは（ 15 ）である。（ 16 ）は、すべての 4 大プロスポーツでは導入されていない。ただし、（ 16 ）といっても、厳格な（ 16 ）もあれば、ラリー・バード例外条項など様々な例外ルールを定めた（ 16 ）も存在し、その内容は一様ではない。（ 16 ）は、日本のプロスポーツでは、（ 17 ）が採用していた。

- |                 |           |            |                 |               |
|-----------------|-----------|------------|-----------------|---------------|
| ア. MLS          | イ. AFL    | ウ. NFL     | エ. ドラフト制度       | オ. サラリーキャップ制度 |
| カ. シングルエンティティ制度 | キ. bj リーグ | （バスケットボール） | ク. J リーグ (サッカー) | コ. プロ野球 (日本)  |

### 【問題 3】

放送や配信から得られるスポーツビジネスの収入を（ 18 ）という。所属クラブが対戦する日本のリーグビジネスのうち、（ 19 ）は全国レベルの放送や配信を一括管理しているため 1 社が全クラブのすべての放送や配信を行うことになっている。一方、プロ野球 (日本) のうち、（ 20 ）は一括管理していないため、基本的に各クラブと契約しなければ放送や配信はできない。

- |             |              |            |                 |
|-------------|--------------|------------|-----------------|
| ア. 入場料収入    | イ. 放映権収入     | ウ. スポンサー収入 | エ. 商品化収入        |
| オ. データ収入    | カ. 移籍金収入     | キ. 大相撲     | ク. J リーグ (サッカー) |
| ケ. セントラルリーグ | コ. パシフィックリーグ |            |                 |

### III.

各設問の空欄（ 21 ）から（ 30 ）に当てはまるものを、下記の語群から 1 つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

#### 【問題 1】

継続的な身体運動を行うことで、（ 21 ）の低下を期待することができる。

- ア. 尿中ドーパミン イ. HDL-コレステロール ウ. LDL-コレステロール
- エ. 血中タウリン オ. 血中グルコース

#### 【問題 2】

筋力の低下や骨・軟骨の老化などの運動器の障害によって、要介護やそのリスクが高い状態になることを（ 22 ）症候群という。

- ア. バーンアウト イ. コンパートメント ウ. メタボリック エ. セカンドインパクト
- オ. ロコモティブ

#### 【問題 3】

筋損傷は、二関節筋が（ 23 ）性収縮をする際に発生しやすく、重症の場合には完全断裂に至る場合もある。

- ア. 求心 イ. 回転 ウ. 遠心 エ. 持続 オ. 突発

#### 【問題 4】

睡眠はノンレム睡眠とレム睡眠を繰り返すが、その 1 周期はおよそ（ 24 ）分である。

- ア. 30 イ. 45 ウ. 60 エ. 100 オ. 150

【問題 5】

運動行動の変容ステージは 5 段階に分類することができ、健康への恩恵を得る望ましい水準で運動をし始めて間もない状況の者は（ 25 ）期に該当する。

- ア. 前熟考 イ. 熟考 ウ. 準備 エ. 実行 オ. 維持

【問題 6】

スポーツ傷害受傷直後から競技復帰までの過程は 5 つのステージに分類することができ、（ 26 ）期では主に患部の炎症症状拡大の防止に努める。

- ア. 保護 イ. 訓練前 ウ. 訓練後 エ. 復帰準備 オ. 再発予防

【問題 7】

身体にどのようなトレーニング負荷がかけられるかによって、それに対する適応の仕方が決定されることを（ 27 ）の原則という。

- ア. 過負荷 イ. 特異性 ウ. 漸進性 エ. 超回復 オ. 個別性

【問題 8】

無酸素性トレーニングの中でも、継続時間が 6 秒以内の運動では（ 28 ）系の代謝が利用される割合が高くなる。

- ア. クエン酸回路 イ. 酸化 ウ. 乳酸 エ. ADP-CP オ. ATP-CP

【問題 9】

筋・腱の弾性を利用し、爆発的な短縮性収縮を引き出すことを目的としたトレーニングを（ 29 ）トレーニングという。

- ア. レジスタンス イ. プライオメトリック ウ. エアロビック エ. アジリティ  
オ. バランス

【問題 10】

身体の発育過程において、筋肉が最も増える時期は身長が最も伸びる時期（ 30 ）に認められる。

- ア. とほぼ同じ時期 イ. より遅く ウ. より早く

## IV.

### 【問題 1】

各設問の空欄 ( 31 ) ~ ( 34 ) に当てはまる最も適切な語句、用語、または数値を選択肢から 1 つずつ選び、その記号を解答欄に記入せよ。

- 骨格筋を収縮させるための直接のエネルギーは ( 31 ) によってもたらされる。
- 骨格筋は腱を介して骨に結合しているため、その収縮は単に関節運動を発生させるだけではなく、腱に ( 32 ) を蓄積させたり、伸長された腱が元に戻ろうとする復元作用と相まって、筋のみでは発揮できないほど大きな ( 33 ) を発生させことがある。
- 骨格筋が発揮できる最大筋力は、その筋に接続している全ての ( 34 ) から刺激を受けた際に発生するが、実際に人が随意的に発揮できる筋力はこれよりも小さい。

- |                  |                   |
|------------------|-------------------|
| ア. 無酸素的エネルギー供給過程 | イ. 有酸素的エネルギー供給過程  |
| ウ. アデノシン三磷酸の分解   | エ. 運動エネルギー        |
| オ. 弾性エネルギー       | カ. パワー            |
| キ. 筋力            | ク. 筋原線維           |
| ケ. サルコメア         | コ. $\alpha$ -運動神経 |

### 【問題 2】

各設問の空欄 ( 35 ) ~ ( 38 ) に当てはまる最も適切な語句または用語を選択肢から 1 つずつ選び、その記号を解答欄に記入せよ。

- フェイント動作と切り替え動作という攻撃側選手による素早い連続動作のそれぞれに防御側選手が反応する場合、フェイント動作への反応時間の方が切り替え動作への反応時間よりも ( 35 )。それは、最初の反応による脳内情報処理がある程度進まない限り次の反応が開始できないという ( 36 ) に起因する。
- 人が骨格筋の収縮によって力を発揮した際に、筋、腱、関節に備わっている固有感覚受容器によってもたらされた ( 37 ) と、この筋収縮を引き起こすための神経活動から生じる感覚である ( 38 ) は、必ずしも一致しない。

- |                                |                                     |             |          |
|--------------------------------|-------------------------------------|-------------|----------|
| ア. 長い                          | イ. 短い                               | ウ. 反応コンフリクト | エ. 心理的不応 |
| オ. 筋力の知覚 (perception of force) | カ. “力の感覚 (sense of muscular force)” |             |          |
| キ. “努力感 (sense of effort)”     |                                     |             |          |

【問題3】

各設問の空欄（ 39 ）～（ 40 ）に当てはまる最も適切な用語を選択肢から1つずつ選び、その記号を解答欄に記入せよ。

- ・ その欠乏が持続的なスポーツの競技パフォーマンスに重大な影響を及ぼすことが広く知られているにもかかわらず、特に女子選手にとって摂取が不足しがちなミネラルは（ 39 ）である。
- ・ 筋・骨の保持に必要であるが、過剰に摂取すると脂肪として体に蓄積され、体脂肪率の増加につながる栄養素は（ 40 ）である。

ア. カルシウム イ. リン ウ. カリウム エ. 鉄 オ. ヘモグロビン カ. 炭水化物  
キ. 脂肪 ク. たんぱく質 ケ. 水

V.

各設問の（ 41 ）から（ 50 ）に最も当てはまるものを、下記の語群から一つずつ選びなさい。

【問題 1】

コーチは、試合等で得られた情報を整理し、次なる（ 41 ）に対してコーチングプログラムを作成することを怠ってはなりません。また、さまざまな情報や他の状況を分析し、アスリートに適当なコーチングシステムや瞬時に（ 42 ）の背景を思考することも重要です。

- |            |            |        |            |
|------------|------------|--------|------------|
| ア. トレーニング  | イ. スポーツ技術  | ウ. データ | エ. パフォーマンス |
| オ. フィロソフィー | カ. フィードバック | キ. 課題  | ク. アドバイス   |

【問題 2】

（ 43 ）は対象のすべてに対して、同じ内容を同じ方法で伝えるアプローチで、（ 44 ）は個々に対して指導内容や方法を個別にアプローチするといった違いがあります。（ 43 ）は「インプット（教え込む）」、（ 44 ）は「アウトプット（引き出す）」ともとらえることができ、可能性、能力、やる気などを引き出すことがコーチの役割といえるでしょう。

- |            |              |             |
|------------|--------------|-------------|
| ア. ファシリテート | イ. コーチング     | ウ. ディスカッション |
| エ. トレーニング  | オ. プレゼンテーション | カ. カウンセリング  |
| キ. ミーティング  | ク. ティーチング    |             |

【問題 3】

「技術」にはいくつかの特性があるといわれています。

（ 45 ）：あるやり方を用いることによって望ましい運動の成果が得られなければ、それは「技術」とはいえません。どんなに腕をかいても前に進めなければ、それは平泳ぎのプルの技術とはいえないことになります。

（ 46 ）：達成しようとする運動の結果を得るために、余計な力や動きをできるだけ使わずに得られる「やり方」が「技術」と呼ばれます。

- |        |           |         |         |
|--------|-----------|---------|---------|
| ア. 個別性 | イ. 一般妥当性  | ウ. 競技特性 | エ. 合目的性 |
| オ. 経済性 | カ. 時間的限定性 | キ. 全面性  | ク. 多様性  |

#### 【問題 4】

以下のいくつかの段階を経てチームは創られていきます。

( 47 )：まず、自らのチームがどこへ向かっているかをはっきりします。どうなりたいか、チームの特徴を把握させ、長所を引き出す形で、例えば「日本一」「ワールドカップでベスト4」などを掲げることが多いでしょう。

( 48 )：これは、現状と ( 47 ) との差異を意味します。この差異をはっきりと把握できなければ、どのように埋めるかを決定できません。

- |          |                 |            |
|----------|-----------------|------------|
| ア. ギャップ  | イ. アクション（戦略実行）  | ウ. コミットメント |
| エ. ゲーム分析 | オ. ビジョン（Vision） | カ. フィードバック |
| キ. 現状把握  | ク. 全体構想         |            |

#### 【問題 5】

動機づけや覚醒水準とパフォーマンスの間には ( 49 ) の関係があり、最適なレベルより高すぎても低すぎても ( 50 ) が困難となります。

- |              |         |           |          |
|--------------|---------|-----------|----------|
| ア. コンディショニング | イ. 相関   | ウ. プラトー   | エ. 逆 U 字 |
| オ. 目標設定      | カ. 実力発揮 | キ. トレーニング | ク. スランプ  |